

住友金属鉱山電気亜鉛  
蒸溜亜鉛・原料指定問屋  
亜鉛ドross・洋買入

**大阪亜鉛工業株式会社**

取締役社長 林 昭宏

〒555-1 大阪市西淀川区佃四丁目一四番三号  
電話(〇六)四七七一・二五三三代表  
〒111-1 東京都墨田区立花二丁目四番五号  
電話(〇三)三八八二・三三五一・二番

# 日刊メタルレポート

発行所  
株式会社 日刊金属新聞社

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7  
電話(06)6932-5443代表

北陸支社 富山市曙町1-30-508号内  
電話(076)444-6836

購読料 半カ年44,100円(前納)3カ月22,050円

◆自動車生産台数

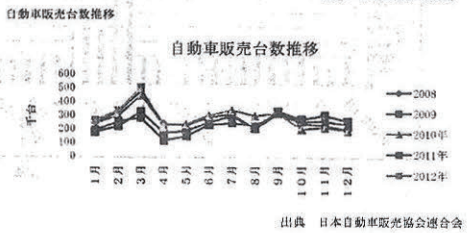
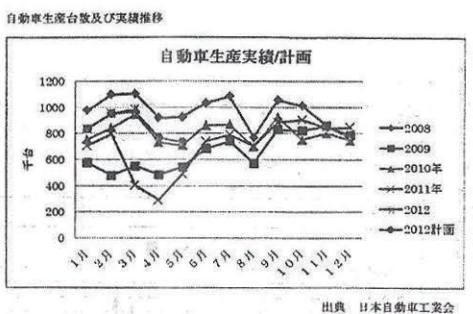
|      | 1月       | 2月       | 3月       |
|------|----------|----------|----------|
| 生産台数 | 83万7197台 | 95万2268台 | 98万4567台 |
| 前月比  | -1.3%    | +13.7%   | +3.4%    |
| 昨年対比 | +18.6%   | +19.7%   | +243.7%  |

◆自動車販売台数

|      | 2月       | 3月       | 4月       |
|------|----------|----------|----------|
| 販売台数 | 33万3213台 | 49万7959台 | 20万8977台 |
| 前月比  | +26.6%   | +49.4%   | -58%     |
| 昨年対比 | +31.9%   | +178.2%  | +192%    |

◆生産計画台数

|        | 3月     | 4月       | 5月       |
|--------|--------|----------|----------|
| 生産計画台数 | 96万3千台 | 77万6500台 | 73万3500台 |
| 前月比    | +1.2%  | -19.4%   | -5.5%    |



【前月の経済指標】

◆日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前月比三・四増の九八万四、五六七台であった。

◆日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前月比五・八減の二〇万八、九七七台(前年比一九・二増)。

◆三月間の自動車生産計画は昨年対比一〇・八・六増の二四七五・三台(二面へ続く)

一六五ドル(セツル)と約三一五ドル下落しての前半締めとなった。後半は注目の独ZEW指数が予想外の好結果だったことやIMFが来年の世界経済成長見通しを上方修正したこと、さらにG20でIMFへの追加的資金捻出が決定したことを好感し月末は八、四四四ドルまで回復した。GW明けの五月七日現在八、二九六ドルと、フランス大統領選でサルコジ氏が敗北したことやギリシャでの二大政党惨敗による政治不安から一五〇ドル強下落、建値七〇万円のスタートとなった。



橋本健一郎氏

## 自動車各指標はなお好調

復興需要は年度後半にずれ込むか

橋本金属 橋本健一郎氏リポート①

【概況】四月前半は前月から一転、期待のスペイン入札が不調だったことやそれを嫌気しての仏・伊・ポルトガル債の利回りの急上昇や、三月の中国の貿易統計が五・三増と予測の九増から大幅伸び悩んだこと、米バーナンキFRB議長が「米景気は回復にはほど遠い」とのコメントを嫌気し大幅下落八、

新幹線を支える

**イク子**の銅合金インゴット

高品質を追求するイク子の銅合金地金は鉄道架線金具に使用され、新幹線やJR各線の安全運転のお役に立っています

株式会社 **イク子**

〒554-0052 大阪市此花区常吉2-3-53  
06-6460-2246代表  
FAX 6460-2355

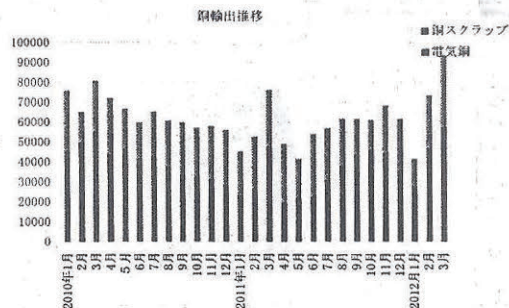
青銅・リン青銅  
アルミ青銅  
美術青銅  
鉛青銅  
など各種

N700系のぞみ(時速300km)



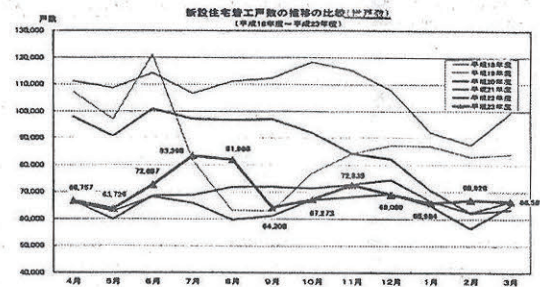
## ◆貿易関連指標

| 輸出    | 1月       | 2月       | 3月       |
|-------|----------|----------|----------|
| 電気銅   | 2万8061 t | 4万7035 t | 5万7724 t |
| 前月比   | -22.2%   | +67.6%   | +22.7%   |
| スクラップ | 1万3488 t | 2万6470 t | 3万5946 t |
| 前月比   | -47.5%   | +96.2%   | +35.8%   |
| 輸出推移  |          |          |          |



◆貿易関連指標  
財務省貿易統計によると輸出は前月比で電気銅が二二・七％増の五万七、七二四t、スクラップが三五・八％増の三万五、九四六t。

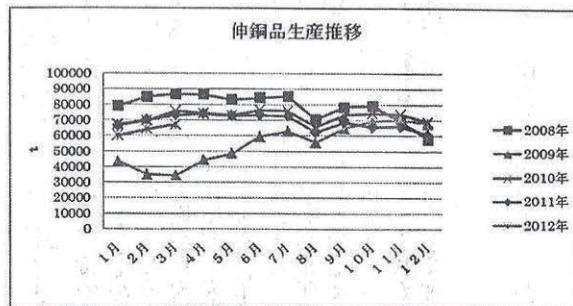
|            | 1月      | 2月      | 3月      |
|------------|---------|---------|---------|
| 新設住宅着工数    | 6万5984戸 | 6万6928戸 | 6万6597戸 |
| 季節調整 前月比   | +5%     | +11.6%  | -7.6%   |
| 昨年対比       | -1.1%   | +7.6%   | +5%     |
| 新設住宅着工件数推移 |         |         |         |



(二面より続く)  
◆新設住宅着工戸数  
国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)七・六％減(昨年比五％増)の六万六、五九七戸であった。

輸出は電気銅、スクラップとも大幅増  
輸入は電気銅が二〇〇％急増

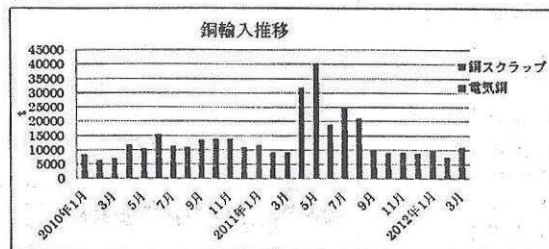
日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前月比〇・二％増の五万九、五〇〇tであった(昨年対比五・九％増)。(六面に続く)



出典 日本伸銅協会

【前月の国内指標】  
日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比四・七％増の六万七、一二〇t(昨年対比八・一％減)。

| 輸入    | 1月     | 2月     | 3月     |
|-------|--------|--------|--------|
| 電気銅   | 3758 t | 1272 t | 3810 t |
| 前月比   | +3.1%  | -66.2% | +200%  |
| スクラップ | 6286 t | 6321 t | 7151 t |
| 前月比   | +22.9% | +0.6%  | +13.1% |
| 輸入推移  |        |        |        |

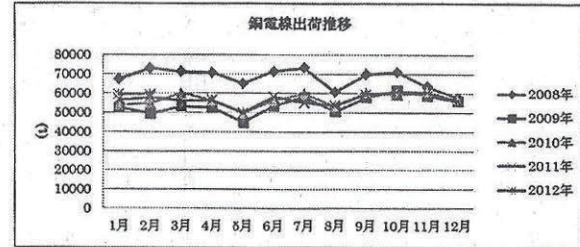


出典 財務省 貿易統計

輸入は電気銅が前月比二〇〇％増の三、八一〇t。スクラップ一三・一％増の七、一五



海外銅は上値支え、下値では米中金融緩和期待が  
(二面より続く)



出典 日本電線工業会

【見通し】  
前月同様に自動車関連は絶対好調、住宅関連も底入れが感じられたが全体としては悪化が進んだ月となった。

自動車生産は前年比二四四%増の九八万四、五六七台と八カ月連続上昇。新年度後も堅調に推移。

また国内自動車販売台数も二〇万八、九七七台と前年比一九二%増と急上昇、また三、五月の自動車生産計画が二〇九%増と自動車関連は絶対好調。

自動車関連が少ない伸銅品生産量は前月比四・七%増の六万七、一二〇tだが、昨年対比では八・一%減。

銅電線出荷量は、前月比〇・二%増の五万九、五〇〇t、昨年対比五・九%増と二カ月連続回復へ。特に自動車向けに助けられ形に。

新設住宅着工数は季節調整前月比七・六%減の六万六、五九七戸だが、前年比は五%増と回復の兆しあり。復興需要は年度後半へずれ込むか。

輸出に関しては、電気銅輸出が前月比二三%増の五万七、七二四tと二カ月連続の大幅増。また銅スクラップも三六%増の三万五、九四六tとこちらも大幅増加した。

背景には前月に続き金融緩和による内需拡大期待の中国筋の買いが考えられる。

輸入は全体としては今大本格的な回復基調には懐疑的だとの見方があるが、絶対量の発

生量の大幅減少から輸入は急増、電気銅が二〇〇%増の三、八一〇t、スクラップも一三%増の七、一五一t。

銅需給に関しては、新年度入り後も自動車関連の本格的な需要が継続、販売面で自動車前年比一九二%増と大幅回復、また三、五月の三カ月間の生産計画は昨年対比二〇九%増の二四七万三、〇〇〇台。また住宅着工数は五%増(前年比)と新年度入り後も需要増期待。ただその他の関連業界は引き続き悪化しており、伸銅品生産に関しては一〇カ月連続悪化の八・一%減(前年比)。新規材料難ではあるが、絶対的な発生量の不足から電気銅需要はタイトなとの予測。

銅価格に関しては、米経済指標などで明るい動きはみられるものの、仏大統領選でサルコジ氏が落選したことやギリシャも選挙で連立与党が惨敗したことにより、いままでの欧州救済プランが崩壊する可能性もあり油断はゆるさない。また米・中・欧すべてのファンダメンタルズの悪化から上値も乏しく上値は限られ八、四〇〇ドルあたり、ただ下値もやはり米、中の金融緩和期待が下支えしLME価格で七、四〇〇〜八、四〇〇ドル。銅建値に関しては六四〜七二万円程度と予測している。

欧州金融安定化基金 **ギリシャ融資の実行確認**

残りは六月末までに拠出へ

欧州連合(EU)ユーロ圏諸国でつくる欧州金融安定化基金(EFSF)は九日、総額一、三〇〇億ユーロの第二次ギリシャ支援策に基づき、四二億ユーロ(約四、三〇〇億円)の融資を十日に実行すると発表した。当初は五二億ユーロとみられていた。差額の一〇億ユーロは六月末までに拠出するとしており、総選挙後の混迷が深まる同国に「改革なくして支援なし」との圧力を掛けたものと受け止められている。

ユーロ圏は支援と引き換えに、ギリシャに緊縮財政と構造改革を課した。しかし六日の総選挙では、緊縮反対の野党勢力が躍進し、改革を断行できる新政権が誕生するか不透明になっている。

AFP通信によると、ルクセンブルクのアッセルボレン外相は「状況は深刻だ」と語り、ギリシャで信頼に足る政権が樹立されなければ、ユーロ圏は融資を止める可能性もあると警告した。